

令和7年度 学校評価 生徒アンケート集約

数字は、「している(できている)」と「どちらかといえばしている(どちらかといえばできている)」といった肯定的な回答と該当する回答の合計です。

1 生徒アンケート<生活面>

- ① 毎朝朝食を食べる 93.0%
- ② 将来の夢や目標がある 76.8%
- ③ 家族と一緒に夕食を食べる 93.6%
- ④ 学校は楽しいと感じる 92.9%
- ⑤ 学校での出来事を話す 85.6%
- ⑥ 学校生活の意義と目的を理解している 94.3%
- ⑦ 自分で計画的に勉強している 73.3%
- ⑧ 大脳のはたらきを理解している 66.3%
- ⑨ 睡眠時間を確保している 85.6%
- ⑩ 交通ルールを守って登校している 98.1%
- ⑪ 友人や先生・地域の人にあいさつしている 96.6%
- ⑫ 1日にテレビ・YouTube・DVDを3時間以上見ている 23.2%
- ⑬ 1日にゲームを3時間以上している 32.1%
- ⑭ 自発的に清掃に取り組んでいる 88.1%
- ⑮ 1日にインターネットを3時間使用する 32.1%
- ⑯ メール・LINEを毎日使用する 74.9%
- ⑰ 家庭学習を2時間以上行う 18.7%

2 生徒アンケート<学習面>

- ① 朝のモジュールによって1校時から集中できる 87.5%
- ② 朝のモジュールで大きな声で実施している 65.4%
- ③ 教科モジュールで授業に集中できる 65.4%
- ④ モジュールで読書が好きになっている 60.8%
- ⑤ 基本的な学習習慣が身に付いている 90.2%
- ⑥ 積極的に全員発言ができている 69.8%
- ⑦ 接続後発言ができている 33.2%

- ⑧ 理由づけ発言ができる 50.9%
- ⑨ 要求発言・ストップ発言をしている 29.4%
- ⑩ 集中して授業に取り組んでいる 93.2%
- ⑪ 班で関わり学び合いができている 93.0%
- ⑫ ICT 機器で理解を深めている 94.1%
- ⑬ 道徳で人の意見に絡んだ発言ができている 89.7%
- ⑭ 道徳授業で自身の生き方を見つめている 93.9%
- ⑮ 「家庭学習の手引き」を活用している 56.7%
- ⑯ 専門部活動に積極的に取り組んでいる 95.4%

傾向

1日に3時間以上テレビ・YouTube・DVD、ゲーム、インターネットに時間を費やしている生徒が約2割。生徒の就寝時間は遅い傾向にあり、生活習慣の改善が必要な生徒が多いように思われます。

多くの生徒にとって、家庭学習を習慣化させることが必要だと思われます。スマホの長時間利用など家庭での生活リズムの乱れが、計画的に家庭学習に取り組む弊害となっています。ここ3年間で家庭での学習時間が確立できている生徒は約1割減少しています。

朝のモジュールでは脳科学理論に基づき、前頭前野の活性化を図っており、多くの生徒が1校時から集中して学習に取り組んでいます。さらに、読書の習慣化にも繋がっています。